

# 久米 寿号

第118号  
H25. 1. 1  
久米地区  
寿会連合会  
文化部

会員の皆様

お健やかに新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。皆々様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



文化部

## 久米寿会連合会の活動状況

- 十月一日 「久米寿号第一一七号」発行
- 十月十六日 「周南市ハートフル人権セミナー」に四名参加（於久米公民館）
- 十月十九日 「人権を考える集い」に参加（於櫛ヶ浜公民館）
- 十月二十三日 「お年寄りと児童のふれあいグラウンドゴルフ大会」に二十六名参加（於久米小学校）
- 十月二十九日 「輝きクラブ周南女性部研修会」に六名参加（於徳山社福センター）
- 十一月四日 久米地区総ふれあい大運動会に協力参加
- 十一月六日 周南市高齢者ふれあいスポーツ徳山地区大会に五十六名参加（於周南市陸上競技場）
- 十一月八日 久米・鼓南・櫛ヶ浜の東部チームが昨年に引き続き優勝
- 十一月二十一日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 十一月二十七日 周南警察署等主催の「交通安全シニアいきいき診断教室」に八名参加（於久米公民館）
- 十一月二十七日 「第八回輝きクラブ周南高齢者振興大会及び周南市高齢者安全・安心推進大会」に二十一名参加（於周南市市民館）
- 十二月十日 「久米寿号」編集会議
- 十二月十日 から 一月三日まで 平成二十四年年末年始の交通安全全県民運動」に参加
- 十二月二十日 久米小五年生に「しめ縄作り」を久米コミュニティ推進協議会の皆さんと共に指導（於久米小学校）

## ☆会員の訃報（敬称略）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます  
藤井寿一（中寿会）  
平成二十四年十月二十六日死去 享年八十七歳  
国広千代子（中寿会）  
平成二十四年十一月十五日死去 享年八十五歳



## ☆会員の表彰☆



上南寿会の石川博子さんが、十月三十日に下松市の「スターピアくたまつ」で開催された第六十二回山口県総合福祉大会の席上で、財団法人山口県老人クラブ連合会長から、「多年老人クラブの組織活動に尽くされ、地域老人の福祉増進に寄与された功績はまことに顕著である」として、表彰を受けられました。まことにめでとうございませう。健康で益々の活躍をお祈り申し上げます。

## 表彰を受けて

上南寿会 石川博子

この度、山口県老人クラブ連合会から思いがけず表彰を受けました。

寿会の監査の役を引き受けてから、役員を幾年か続けることになりました。今年こそ終わりにしようと思いつながら、十年以上が過ぎました。

その間、旅行や、ペタンク、クラウンドゴルフ、澤田公園の花壇づくりなど、様々な体験をさせて頂きました。活動を支えて下さいました会員の皆様方に大変感謝いたしております。又、寿会からも、花束を頂きました。ありがとうございます。

これからは、健康に気をつけ、若い方々のお世話になりながら、活動していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

## 支所・公民館に

配属されて

久米公民館主事 金近和博

この四月に、久米公民館へ主事として配属となりました。金近和博と申します。

私は、市役所に入庁し今年で十六年目を迎え、これまで、税徴収部門、情報管理部門、福祉部門、人事部門を経験して、この度、兼ねてから配属を熱望していた支所・公民館に配属となりました。

私が、支所・公民館を希望してきた理由は、「役所人生において若いうちに地域住民と関わることの重要性を学び、そこでの経験をその後の糧としたい」「地域とのつながりの大事さを体感できる部署で自分の能力を発揮し、自分のスキルアップ、可能性を広げたい」「支所業務を学び、習得することで市役所全体の業務を広く浅く知りたい」の三つです。

この数ヶ月間、夏祭り、運動会、高齢者ふれあいスポーツ大会など、様々な地域イベントに参加させていただき、地域の皆様と関わるその一日一日が良き経験であり、市職員として、今それが経験できているありがたさを実感しております。

地域活動の拠点施設であり、市職員の学び舎である公民館において、「地域を知り、地域を愛し、地域のために尽くす、そのために、地域の人を知り、地域の人を愛し、地域の人のために尽くす！」そんな市職員であり続けたいと思っております。

まだまだ、未熟な点が多々あるかと思いますが、今後とも、ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

中尾利博

山口のサビエルの塔日本一  
エアコンに加湿器欲しいベツトかな

清花

増税のつぼみふくらむ初春の風  
後戻り利かぬ余生の「日ぐり」はぐ  
満面の笑みで近寄る選挙前

くめ・ひばり

住む人のなきあばら家はなお寒し  
また一つうれしくもなし年重ね



### 交通安全シニアいきいき 診断教室に参加して

東寿会 松岡ひろ子

去る十一月二十一日、久米公民館において運転免許所持者対象に、運転適性検査並びに、座学による認知・判断力・記憶力の学習がありました。  
運転免許を取得して五十年近くなりますが、自分を重んじている事を忘れ、これから先も、ずっと今まで通りに車に乗る事が出来ると思っておりまして。  
しかし、検査結果は自分の予想とは裏腹で散々なものでした。免許証をお返しする日が来るのが、そんなに先のことではない事を感じ、ショックと同時に淋しさを感じています。



これから先、いつまでハンドルを握る事が出来るか解りませんが、安全運転に徹し、一日でも長く運転を楽してみたいと思っておりますが、理想と現実とはちがいますよね。  
まったく余談なことですが、十年日記が今年いっぱいになり、新しい十年日記を買い求めることを、少しためらいました。十年前はこんな事はなかったのに。頑張ったこの日記帳もいっばいにしたいです。

### 脳疲れ

上南寿会 斉藤恒郎

脳疲れという言葉があるかどうか、私の勝手な造語かも知れない。脳が疲れてくると体調にも及んでくる。何も出来ない、したくない。鬱状態になる。毎週の日記の原稿は何か間に合わせてはいるが、前から依頼されている視覚障害者図書館から出される「ともしび」への原稿が捗らない。  
昔ストレスに悩み、解決法を模索した。いろいろあったが、今の私には音楽を聴きながら居眠りをのがれたい。ひとこころ癒しの音楽としてはやされたグレオリオ聖歌やバロック期の宗教曲がいいだろう。これでよく眠ったものだ。集めたレコードを処分していなくてよかった。

先日、階段で向う脛をぶつけた。同じ日、散歩中に躓いて腕を擦りむいた。躓くなんて遠い記憶しかなかったのに……。これも脳疲れが原因だろう。痛むから薬を塗ってくれと腕と脛を捲った。

「どこに？」と問う妻に、落語「孝行糖」のオチを、名調子・先代金馬の口調を真似て叫んだ。  
「こーこーとー、こーこーとー」

田中院内寿会 井上隆雄

「安納芋」という名前のさつまいもがある。三年前に初めて苗五本を作付けした。畑の近くで野菜を作っている奥さんから貰った苗である。

その後、毎年種芋を残し、四月上旬に植付け、伸びた蔓(つる)を、五月上旬から七月上旬頃まで順次植えている。今年は一〇〇本植えた。

「安納芋」の特徴は、一般に普及している「紅あずま」と比較してみると、次のようになる。

安納芋 甘味 収量 茎炒め  
紅あずま 〇 三十〜五十% 硬

「安納芋」は小型の芋が多いが、今年は一株だけ四個の芋が付き総重量三・六kgあった。「鳴門金時」や「紅あずま」より大きいものが時々ある。

十年以上芋を作ってきた。①日当たりが良いこと。②畝を高くする。③肥料は少なく。これを守っていれば良作となることが判ってきた。

### 行事短信

#### ①市高齢者ふれあいスポーツ

##### 徳山地区大会に参加

十一月六日周南市陸上競技場で、「第十回周南市高齢者ふれあいスポーツ徳山地区大会」が開催され、久米地区の各寿会から合計五十六名の皆さんが競技や応援などで参加しました。



旧徳山地区内を六グループに分けて、久米地区は榊ヶ浜地区や鼓南地区と一緒に「東部地区」として競います。  
久米地区の皆さんは、競技全十種目のうち交通安全玉送り、ドリブルリレー、魚つり、玉入れなどの四競技種目とフオークダンスに参加しました。

#### ②お年寄りとお年寄りのふれあい

##### グラウンドゴルフ大会

久米地区社会福祉協議会と共催で、平成五年から続いている恒例の行事「お年寄りと児童のふれあいグラウンドゴルフ大会」が、十月二十三日午後、久米小学校運動場にて、久米小学校五年生七十三人と寿会会員二十六名、育友会十二名それに社協関係者や先生方も加わって開催されました。



十五チームに分かれて二セット合計の団体戦で競い、なごやかに楽しくプレーしました。  
ホールインワンは、雨上がり直後で運動場の状態が悪かったせいなのか、児童二本、大人三本の合計五本と少なめでした。

#### ③久米小五年生の「しめ縄作り」

地域の伝統文化である「しめ縄作り」を、久米小五年生に体験させる集いが、十二月二十日午前、久米小学校体育館で開催されました。



寿会と久米コミュニティ推進協議会の皆さんで、合計十六名が指導者となって児童を六グループに分け、簡単な「輪飾り」を手に取って教えました。児童達は苦闘しながらも、皆んな上手に作っていました。  
今年の材料の稲ワラは、久米コミュニティ推進協議会の有志の方に提供して頂きました。